シリーズ 佐世保の水 ⑫

これからの佐世保と水

これまでに本市の水源の現状や対策など、水事情についてお知らせしてきましたが、今回で最終回です。

市町合併後の水事情

平成の大合併により、本市は6つの町と合併しましたが、水道施設は今もそれぞれが独立したままの状態になっています。そのため、平成19年度の渇水では小佐々地域だけ給水制限が延長されるなど、公平な水道サービスとなっていません。また、合併地域の水源確保対策は、本市の重要な課題となっています。

これからの佐世保と水

本シリーズでこれまでにも紹介してきたとおり、本市の水事情は現在も厳しい状態が続いています。

全国的に少子高齢化が進み、本市の人口も減少し続けると予想されますが、佐世保の町が元気であり続けるためには、それを支える最低限度の社会基盤が必要です。特に本市は、日本の西端に位置していることから、東アジア諸国との観光、物流の拠点としての発展を目指しており、水道が果たすべき役割はますます大きくなっています。

市民の皆さんには、今後とも本市水道事業へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

問水道局経営管理課　☎24-1151

徳育通信 ⑬

徳育の広がりを願って

佐世保徳育推進会議
事務局長
古賀　良一

「徳育推進のまちづくり宣言」から早いもので1年が経過しました。佐世保徳育推進会議では、学校・家庭・職場・地域の代表者などメンバー30人で、徳育とは何か、どう進めるべきか、と試行錯誤しながら活動しているところです。

新聞やテレビで連日報じられる無差別殺人、親族・親子間での凶行、虐待、いじめ、体罰、後を絶たない飲酒運転など、日本社会の荒廃ぶりを見たとき、日本の行く末、佐世保の子どもたちの将来のことを心配しない人は誰一人としていないでしょう。

そうした中、今では死語になってしまった「お天道さまが見ている」「ばちかぶるぞ（罰が当たる）」という意識を取り戻すこと、善悪の判断に立った当たり前のことを当たり前にできる社会を取り戻すことが徳育の意義だと思います。

加えて、徳育は子どもだけを対象としたものではなく、模範となるべき大人社会を含めて推進することを改めて確認したいと思います。

「国家の価値は、結局国家を組織する人民の価値である」という言葉がありますが、徳育が目指す市民像「感謝と思いやりを持ち、自分を律し勇気を持って他人のために何かできる人」がもっと増えるよう、佐世保徳育推進会議は行動し続ける覚悟です。

この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう！

歴史散歩　第五七三回

森吉家のあげ米蔵

●日宇町　撮影・文●筒井 隆義

昭和二年に佐世保市に合併するまで、東彼杵郡日宇村の行政、経済の中心は里免の日宇駅前一帯でした。今は裏通りとなっている旧国道筋に森吉家があり、かつて平戸藩に村民が納めた年貢米（あげ米）の蔵が残っています。

当主の森吉ユクさん（八十五歳）によると「母屋西側の建物は五人組の森吉、大久保、二戸の村里、豊村の各家が平戸藩に納める年貢の蔵だった」と祖父の精一氏（昭和五十三年に九十一歳で死去）から聞いたそうです。

ユクさんの長女・深堀照代さん（六十九歳）と二女・川尻菊代さん（六十一歳）は、母親のお世話をするため、ほとんど毎日実家に通っています。二人はあげ米蔵をくつろぎの間に改装して、親子のだんらんに活用しています。

突き固めた三和土（たたき）の土間は広さ五十平方メートルほど。板張りにして居間にしてあり、かつて年貢のもみを納めた風通しの良い中二階は物置として使っています。

珍しいのは屋根裏に竹が使われていること。天井は張られず、頑丈な梁（はり）の中央部には、もみの俵を上げ下ろしする滑車が付けられていたようです。全体に百数十年の歳月を塗り込めたような古色がにじみ、あげ米を保管してきた重要な役割を物語っています。

森吉家などの五戸は、日宇村を代表する豪農で、農地は小作人に耕作をまかせ、農地に相応の年貢を納めていたと思われます。大正七（一九一八）年に書かれた日宇村誌によると、住民千五百戸のうち農家が八百三十戸で、一戸当たりの耕地は平均で田んぼが五反（約五十アール）と記され、「村内の地味は肥沃（ひよく）」とあります。

「ながさきしまとく通貨」でお得な島の旅を
離島限定のプレミアム付き商品券を発売します！

「ながさきしまとく通貨」とは、本市の宇久島をはじめ、長崎県内の各島で土産物や宿泊費などの支払いに使える、20%のプレミアム付き商品券です。5,000円で6,000円分の買い物ができますので、旅行などの際にご活用ください。

対馬瀬灯台（宇久島）

販売開始　4月1日㈪

販売窓口

港のターミナル、空港ターミナル、佐世保観光コンベンション協会（佐世保駅構内）、宇久町観光協会など、本土と島内の販売窓口約40カ所

利用できる店舗

宇久、小値賀、新上五島、五島、壱岐、対馬の「しま加盟店」登録店舗（約700店舗）

購入できる人

島外からの旅行者など（使用する島の住民は不可）

販売単位

1セット5,000円（1,000円券×6枚）

※1人6セットまで購入できます。

問地域政策課　☎24-1111

問しま共通地域通貨発行委員会コールセンター　☎0570-039-402

人の動き　3月1日 現在

- 総人口 258,054人（−204人）
  男性 121,012人（−100人）
  女性 137,042人（−104人）
- 世帯数 105,403世帯（−86世帯）

※2月中の動き
転入 487人、転出 618人
出生 188人、死亡 261人

させぼ市政だより

- テレビ（毎週土曜）
  NBC・NIB→9時25分〜30分
  KTN・NCC→11時40分〜45分
- ラジオ
  NBC　日曜　9時25分〜30分
  FM長崎　火曜　9時5分〜10分
  FMさせぼ　火曜10時30分〜35分
  日曜　9時30分〜35分
- 新　聞
  長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ
  http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/

携帯サイト